

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

先進技術で、社会の未来を創造する

黒字化時期

2026年12月期第4四半期黒字化

通期黒字化

2027年12月期通期黒字化

② 中長期の経営戦略

1. XR CLOUDの機能拡充

基本機能やアバター、会場などのプリセット追加開発。業界特化の専門メタバース展開で顧客基盤拡大を図る

3. 営業・マーケティング体制刷新

組織横断的な営業体制へ移行。オウンドメディア「メタバース相談室」運営。オープンメタバースネットワーク発足と大日本印刷との資本業務提携

2. サービス提供の拡充

2026年2月よりmonoAI Agentを核とした「SuperCat」提供開始。ARとAIに注力し、リアルビジネス向けメタバースと業務自律化を実現

4. XR×AI基盤開発

独自開発のmonoAI Agentでマルチエージェントシステムを実装。データ連携による自律的な実務完遂を実現

③ 対処すべき課題

① 開発体制強化と人材確保

- ・ 国籍を問わず優秀なエンジニアの採用・育成に注力
- ・ AIによる開発工程の効率化推進
- ・ エンジニアの働きやすい環境整備で組織基盤を強化

② 黒字化と新規事業展開

- ・ 2026年12月期第4四半期での四半期黒字化達成
- ・ 2027年12月期での通期黒字化を必達目標化
- ・ 産業AXの確立とmonoAI Agentの外部販売開始

③ 内部管理体制の強化

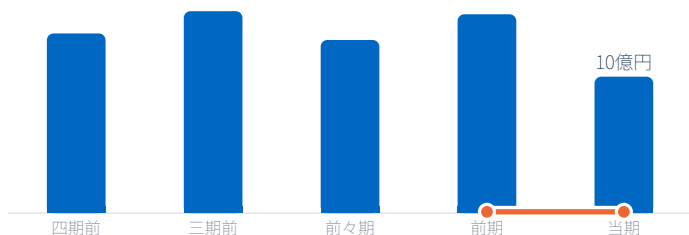
- ・ 事業拡大に応じたコーポレート・ガバナンスの強化
- ・ 適切な内部統制システムの構築

面接で使えるポイント

- ・ XR技術とAIの融合で「産業実装フェーズ」への市場転換を捉えた事業戦略
- ・ monoAI Agent等の独自開発技術で他社との差別化を図り、2027年通期黒字化を目指す
- ・ オープンメタバースネットワーク発足と大日本印刷との提携で、戦略的パートナーシップを推進中

証券コード 5240

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
XR（拡張現実・仮想現実）事業を展開する情報通信サービス企業

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
10億円営業利益率
▲39.8%財務健康度
54点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 34.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
480万円

情報・通信業内 565位/592社

平均年齢
34.6歳

情報・通信業内 499位/593社

平均勤続
5.0年

情報・通信業内 373位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: monoAI technology (株) 【5240】：決算情

